

野生鳥獣による農作物被害の発生状況について

- 令和5年度の野生鳥獣による農作物被害額は、166,651千円となりました。
- 令和5年度は、ツキノワグマの異常出没の影響で被害額が増加しました。ツキノワグマによる被害は全体の約8割を占めています。
- 作目別では、果樹の被害が全体の約8割を占め、次いで野菜、水稻と続いています。
- 近年、イノシシやニホンジカによる被害額ならびに目撃情報が増加傾向にあります。県としては、鳥獣被害防止対策研修会を開催する他、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し各市町村の鳥獣害対策を支援します。

農作物被害額(秋田県) (千円)					
	R1	R2	R3	R4	R5
ツキノワグマ	10,985	11,588	11,348	3,566	128,023
カラス	6,725	6,423	6,811	7,032	12,379
イノシシ	1,175	2,719	4,106	3,506	9,513
ヒヨドリ	3	85	235	215	6,575
サル	5,179	2,854	4,609	2,151	2,589
ムクドリ	30	387	85	85	2,147
シカ	125	494	394	853	211
その他	5,396	5,506	6,555	5,726	5,214
合 計	29,618	30,056	34,143	23,134	166,651

